

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	開発環境	発行番号	TN-CSX-A088A/J	Rev.	第1版
題名	H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ V.6.00 Release 03 リビジョンアップのお知らせ		情報分類	技術情報	
適用製品	PS008CAS6-MWR, R0C40008XSW06R PS008CAS6-SLR, R0C40008XSS06R PS008CAS6-H7R, R0C40008XSH06R	対象ロット等 全ロット	関連資料	H8S、H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ、 アセンブラ、最適化リンケージエディタ ユーザーズマニュアル (RJ10B0049-0100H Rev.1.00)	

H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラパッケージを V.6.00 Release 03 にリビジョンアップしました。

次の表にあるパッケージバージョンをお持ちのお客様は、以下を参照して下さい。

型名	パッケージバージョン	コンパイラバージョン
PS008CAS6-MWR	6.0.00	6.0.00
	6.0.01	6.0.01
R0C40008XSW06R	6.00 Release 01	6.0.01
	6.00 Release 02	6.00.02
PS008CAS6-SLR	6.0.00	6.0.00
	6.0.01	6.0.01
R0C40008XSS06R	6.00 Release 01	6.0.01
	6.00 Release 02	6.00.02
PS008CAS6-H7R	6.0.00	6.0.00
	6.0.01	6.0.01
R0C40008XSH06R	6.00 Release 01	6.0.01
	6.00 Release 02	6.00.02

Windows®版をお持ちのお客様は、アップデートを以下の URL より入手できます。

<http://www.renesas.com/jpn/products/mpumcu/tool/index.html>

UNIX 版をお持ちのお客様は、リビジョンアップ依頼を販売元までご連絡下さい。

1. リビジョンアップ内容

1.1 機能拡張

(1) HEW (High-performance Embedded Workshop) (Windows 版のみ)

ソースファイルからのインクルードファイルのネストレベルが 10 レベル以下の場合、インクルードファイルのディレクトリ情報が相対パスで Make ファイルに出力されていましたが、相対パスで出力されるネストレベルを 10 から 50 レベル以下へ拡張しました。

注：51 レベル以上の場合には絶対パスで出力されます。

(2) 最適化リンケージエディタ

Data_stuff オプションを追加しました。

セクションの境界調整により、コンパイル単位ごとに生じる同一セクション内の空き領域を詰めて、データ領域サイズを削減することができます。

1.2 改修内容

以下の不具合を改修しました。

1.2.1 HEW (High-performance Embedded Workshop) (Windows 版のみ)

(1) マップ表示機能

- ・ 「メモリ」メニューの下に「マップ」コマンドが表示されない不具合。
- ・ マップウィンドウに「Linker section setting」メモリマップ情報が表示されない不具合。

(2) バーチャルデスクトップ機能

ウィンドウコンフィグレーションにメモリウィンドウの表示を開始するアドレスを指定すると、誤ったアドレスからメモリウィンドウを表示する不具合。

(3) ソースファイルに日本語のコメントが含まれる場合、Navigation ウィンドウからエディタウィンドウに表示されているソースファイルの宣言行または定義行へジャンプすると、実際の宣言行または定義行より後方の行にジャンプすることがある不具合。

(4) ナビゲーション機能が有効になっている状態で、アセンブラで書かれたソースファイルを含むプロジェクトをオープンすると、ナビゲーション機能の自動解析作業が終了しない不具合。

(5) ラベルウィンドウの検索機能(*)でラベル名がASCII順で一番最後となるラベルを検索すると LABEL NOT FOUND のダイアログが表示される不具合。

- * ラベルウィンドウ上で右クリックしてポップアップメニューを開き「検索」メニューを選択すると表示されます。

(6) 複数ステップ (ステップ実行を連続して行う機能) を実行途中で中断し、次にプログラムを実行すると、プログラムの停止を手動で実行させるためのツールバーの「停止」ボタンが点灯しなくなり、手動で停止できない場合がある不具合。

また、メニュー「ファイル」「ワークスペースを閉じる」でワークスペースを閉じる、およびメニュー「ファイル」「アプリケーションの終了」でアプリケーションを終了するなどの HEW の操作ができなくなる場合がある不具合。

(7) HEW サーバ機能のインタフェースの「ワークスペースファイルを開く」を使用するとアプリケーションエラーが発生する場合がある不具合。

(8) ELF/DWARF2 フォーマットで作成されたロードモジュールをダウンロードし、ソースウィンドウ上でソースファイルを表示させた場合、プログラムの書かれていない行に対して不正なアドレスが表示されることがある不具合。

(9) 以下のダイアログのタブで状況依存ヘルプが表示されない場合がある不具合。

- (a) オプションダイアログの「ビルド」と「エディタ」タブ
- (b) カスタマイズダイアログの「ツールバー」、「ブレースホルダ」、「デバッガ」、「ログ」、および「ヘルプ」タブ
- (c) デバッグの設定ダイアログの「オプション」タブ

1.2.2 コンパイラ

(1) ビットフィールドメンバの設定/参照に関する注意事項(H8C-0002)

ビットフィールドメンバをアドレスへ設定、またはアドレスから参照したとき、オブジェクト不正となる場合がある不具合。

1.2.3 アセンブラ

- (1) 構造化アセンブリ機能の制御文にサイズ記述なしで分岐サイズを指定した場合、
(E)300 ILLEGAL MNEMONIC を出力する不具合。
- (2) 遅延スロットの命令に1ワード命令以外を記述した場合、(E)150 INVALIDDELAY SLOT INSTRUCTION
を出力しない不具合。

1.2.4 最適化リンケージエディタ

- (1) リンク時の最適化により、デバッグ情報(行情報)が不正に編集されデバッガ上での表示が不正になる
場合がある不具合。
 - ・ 発生条件
以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。
 1. コンパイル(アセンブル)時に debug,goptimize オプションを指定している。
 2. リンク時の最適化が有効である。
 3. 最適化によって、デバッグ情報の行情報が出力される行の間隔が255行になる。
- (2) アセンブラが出力したオブジェクトファイルに対して、最適化すべきでないセクションに対して
不当に最適化を行ってしまう問題。
 - ・ 発生条件
以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。
 1. ソースファイルに、PC インデックス相対命令(BRA Rn.B/W/L or BSR Rn.B/W/L)がある。
 2. 1.のファイルのアセンブル時に、アセンブラの goptimize オプションを指定している。
 3. 2.のオブジェクトファイルをリンクして、リロケータブルファイルを作成している。
 4. 3.のリロケータブルファイルをリンク時に、最適化が有効である。
- (3) 共通コード統合最適化を指定して生成したアブソリュートファイルを helfcnv に入力すると、
G2003 エラーとなる不具合。
 - ・ 発生条件
以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。
 1. コンパイル時に debug,goptimize オプションを指定している。
 2. 共通コード統合最適化(optimize=same_code)が有効である。
 3. optlnk V.8.00.03 以降のバージョンを使用している。